

港湾における

生物多様性保全への 要請に応える

令和6年度
第2回

実りある学会

参加費無料

事前登録制

令和7年

3月3日 月

13:30～15:45
(13:00受付開始)

演題 I

「環境モニタリングの新技术」

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 インフラDX研究領域 ビッグ
データ研究グループ長 兼 海洋環境制御システム研究
領域 海洋環境情報研究グループ長 **細川 真也 氏**

演題 II

「鉄イオンによるブルーカーボンの活性化と海環境・ 水産資源の復活」

県立広島大学 名誉教授 **田中 稔次郎 氏**



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

CPDプログラム認定: JSCE25-0140[2.0単位]

※土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。

CPDSプログラム認定: 959037 [2ユニット] (会場聴講者のみ対象)

本講演会はCPDSの学習履歴申請を主催者が行います。



お申し込みはQRコード または下記URLから



<https://forms.office.com/r/7n2vUf3H5M?origin=lprLink>

開催日 迫る！ 申し込みはお早めに！

【問合せ先】広島港湾空港技術調査事務所 調査課

〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F

TEL: 082-250-1902 <http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo/>

令和6年度 第2回

実りある学舎



実りある学舎とは

最新技術に関する情報収集や発信の場として、また学識経験者や各分野のスペシャリストから知識を学び取り技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場として、「実りある学舎」という講演会を開催しています（不定期）。

参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

講演概要

演題 I

「環境モニタリングの新技術」

細川 真也 氏



最近、生物多様性保全への関心が、急速に高まってきている。

港湾分野においても、生物共生型港湾構造物の構築の要請が強まっており、また「**生物多様性増進活動促進法**」の施行（令和7年4月）に伴う、ネイチャーポジティブへ向けた活動は避けられない状況にある。

しかし、生物に係る調査は高コストであり、そもそも生物の多様性を測る事自体が容易ではない。

本講演では、近年世界的にも技術開発が進んでいる環境DNAや遺伝子の解析技術が、如何に生物調査の低コスト化を可能にするかを解説し、港湾における生物多様性モニタリングの展望について述べる。

合わせて、広島港湾空港技術調査事務所（主催者）からの受託研究により、講演者が取り組んできた、比較的安価に海草・海藻分布の把握を可能とする技術を紹介する。

演題 II

「鉄イオンによるブルーカーボンの活性化と海環境・水産資源の復活」

田中 稔次郎 氏



鉄は身近なごくありふれた金属だが、動物や植物、微生物など、すべての生命にとっては奇跡の原子である。鉄イオンは細胞のエネルギー代謝で重要な働きをする。地球温暖化防止のためのカーボンニュートラルには、鉄イオン技術によるブルーカーボンの推進が不可欠である。それは同時に海環境の回復と水産資源の復活につながる。

本講演では、鉄理論による二酸化炭素削減のメカニズム及び水溶性二量体鉄塩(FFC)と鉄イオン溶出体を用いた海環境・資源の回復の実証事例について報告する。